

広報 あての木園

社会福祉法人輪島市福社会
〒929-2378
石川県輪島市三井町小泉上野2番地



法人設立40周年、令和6年能登半島地震、奥能登豪雨、事業再開から1年経過
～皆様から支えられて～



もくじ

■ 法人設立40周年～地域と共に歩んだ40年～	2頁
■ 法人理念	3頁
■ 法人の歩み	3頁
■ 法人が行っている事業	7頁
■ 全国老施協 DWAT(災害派遣福祉チーム)の活動	10頁
■ 令和6年度 事業報告	12頁
■ 令和6年度 決算報告	17頁
■ 令和7年度 事業計画	19頁
■ 令和7年度 予算概要	20頁
■ 令和6年度 苦情受付状況	20頁
■ 役員名簿	21頁
■ 善意のご寄附者 ご寄贈者	21頁
■ 職員及び臨時職員 募集！！	21頁
■ ボランティアを募集しています	22頁
■ 活動報告と あたたかい支援の記録	22頁
■ 職員応募者へメッセージ	31頁
■ 介護士として、生きていく	32頁

■ 法人設立 40周年 ～地域と共に歩んだ40年～



理事長 前田 正彦

社会福祉法人輪島市福祉会が9月6日に、法人設立40年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さまのお陰と感謝しております。

6月25日から理事長に就任しました。

理事長として、輪島市福祉会の事業継続と、地域の皆様が安心して暮らしていけるような、地域づくりの実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

さて、令和6年能登半島地震、奥能登豪雨を乗り越え、事業を段階的に再開してまいりました。しかしながら、職員の退職や入居者、利用者の減少もあり、事業運営については、大変厳しい状況であります。

それでも、当法人は、これからも地域を支えていくために、皆様の創意工夫や知恵を頂きながら、進んで参りたいと考えております。

今後とも、輪島市福祉会に、ご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

令和7年10月吉日

(広報 わじま 昭和61年4月5日)

No. 211
昭和61年4月5日発行
石川県輪島市二ツ屋町
発行所 輪島市福祉会
編集 前田 正彦
郵便番号 922-0211
電話番号 02211

市民の善意が結実

特別養護 老人ホーム あての木園竣工、社会福祉法人で運営へ

特別養護あての木園 老人ホーム

◎あての木園の概要

設置運営主体	社会福祉法人輪島市福祉会	総工費	4億1,698万円
施設名	特別養護老人ホームあての木園	財源内訳	
所在地	石川県輪島市三井町小島上野と善地	国・県・市・道・県民共済	177,083千円
敷地面積	17,637㎡(農地)	輪島市補助金	39,897千円
床面積	1,620㎡	社会福祉協議会等関係人金	180,000千円
建物の構造	鉄筋コンクリート 平家建	国・県・市・道・県民共済	19,000千円
収容定員	50名	社会福祉協議会等関係人金	19,000千円
収容室	4人部屋 10室・2人部屋 5室		

'86
4



特別養護老人ホーム 建設への行程

- 昭和58年7月 特別養護老人ホームの建設の意向固まる ●昭和58年12月 推進準備委員会を設置
- 昭和59年6月 中段町地内で建設候補地選定。用地交渉を開始 ●昭和59年10月 社会福祉法人設立のため発起人会設置。中段町の用地交渉を断念 ●昭和59年11月 新たな候補地として、三井町地内の県有地を選定 石川県に打診

‘86年4月号
広報わじま
より一部抜粋

建設予定の特別養護老人ホームは、県立や市立ではなく新たに設立される民間社会福祉法人によって設置運営されることになります。

現在、この民間発起人会を組織して諸準備を進めています。発起人会のメンバーは次の皆さんです。

顧問：大向貢 設立代表：南昭三 会員：永泉良雄、鍔光男、引戸力、大家義輝、前田真一、福久清一、弥郡信雄、中山勝、中谷牛之助、柴田昭三郎、宮下友吉

施設の建設費総額は、四億一千七百万円の見込みで、その財源内訳は、国・県からの補助金が一億七千七百万円、市からの補助金が四千万円、社会福祉法人の借入金が一億九千万円、社会福祉法人の自己資金(市社会福祉協議会の寄付金)が一千万円と予定されています。

市の補助金四千万円のうちには、市民各位からの寄付金も含まれることになっています。

■ 法人理念：「尊厳」「共生」「向上」

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、地域社会と共に自立した生活を営むことができるように支援します

私たちは、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図ります

法人の基本方針

1. 超高齢化が進むなか、高齢者を取り巻く環境の変化、介護保険制度を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、当法人の役職員が社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、介護者としての本旨にたちかえり高齢者福祉の進展に寄与します
2. 地域の方々の社会福祉支援を目的に、誠心誠意のサービスに努めます
3. 個人の尊厳を保持しつつ、介護サービスが「いつでも・どこでも・だれでも」利用できるよう努めます
4. すべての役職員は、倫理・理念を遵守し、専門性を高め、地域の一員として社会福祉の充実を目指します

■ 法人の歩み

昭和 59 年 10 月 14 日	社会福祉法人設立発起人会発足
昭和 60 年 02 月 20 日	特別養護老人ホーム整備協議書を厚生省・石川県に提出
昭和 60 年 05 月 01 日	石川県と輪島市で県有土地貸借契約を締結
昭和 60 年 06 月 03 日	建設現場遺跡分布調査開始
昭和 60 年 06 月 21 日	法人設立許可申請
昭和 60 年 07 月 31 日	建設工事入札
昭和 60 年 08 月 05 日	工事請負契約締結、工事着手
昭和 60 年 08 月 14 日	法人設立許可書認可(厚生大臣)
昭和 60 年 09 月 04 日	輪島市と法人であての木園用地使用貸借契約締結
昭和 60 年 09 月 06 日	法人設立登記(法人設立日)
昭和 61 年 03 月 28 日	特別養護老人ホームあての木園竣工式
昭和 61 年 04 月 01 日	特別養護老人ホームあての木園開園(50 床)
昭和 63 年 04 月 01 日	開園2周年記念特集号こころ発刊
平成 02 年 04 月 01 日	旬集あての木発刊
平成 03 年 02 月 28 日	デイサービスセンター(B型)、ショートステイ専用居室整備協議書を県に提出
平成 03 年 04 月 01 日	建設現場遺跡分布調査開始
平成 03 年 07 月 01 日	あての木園デイサービスセンター及びショートステイ専用居室工事請負契約締結、工事着手
平成 03 年 09 月 28 日	台風19号 最大瞬間風速 57.3m 停電3日間
平成 04 年 01 月 28 日	あての木園デイサービスセンター及びショートステイ専用居室施設竣工式
平成 04 年 01 月 29 日	あての木園デイサービスセンター(B型)及びショートステイ専用居室事業開始
平成 04 年 04 月 01 日	デイサービスセンターA型に移行
平成 05 年 01 月 04 日	ホームヘルプサービス事業開始、在宅介護支援センター事業開始
平成 05 年 06 月 29 日	中央競馬社会福祉財団へ食堂増改築事業助成金交付申請～平成6年3月2日竣工
平成 08 年 04 月 01 日	ロングデイサービス、ホリデイサービス事業開始、10周年のあゆみ発刊
平成 08 年 06 月 07 日	あての木園開園10周年記念式典、祝賀会
平成 10 年 07 月 10 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築整備協議書を県に提出
平成 10 年 12 月 14 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築工事請負契約締結、12月15日工事着手
平成 11 年 07 月 30 日	特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター増築工事竣工
平成 11 年 08 月 01 日	特別養護老人ホーム入所定員90人(40人増)、短期入所定員30人(20人増)
平成 11 年 10 月 01 日	居宅介護支援事業開始
平成 12 年 03 月 01 日	介護保険事業指定
平成 12 年 04 月 01 日	介護保険法施行
平成 12 年 09 月 01 日	入所定員90人から 96 人へ(短期入所定員30人から24人へ)
平成 13 年 02 月 01 日	入所定員96人から105人へ(短期入所定員24人から15人へ)
平成 15 年 04 月 01 日	入所定員105人から100人へ(短期入所定員15人から20人へ)、短期入所専用

平成 16 年 06 月 01 日	棟、身体障害者居宅介護等事業、知的障害者居宅介護事業実施
平成 18 年 04 月 01 日	短期入所センター専用食堂増築
平成 19 年 03 月 25 日	介護予防関連事業指定及び実施、障害福祉サービス事業実施
平成 20 年 04 月 01 日	能登半島地震 震度6強 建物被害有、断水、一時停電、事業一時停止
平成 20 年 10 月 01 日	障害者福祉サービス廃止
平成 21 年 07 月 01 日	配食サービス廃止
平成 22 年 03 月 30 日	デイサービス定員を30名から25名へ
平成 22 年 03 月 30 日	介護基盤施設等緊急整備臨時特例事業によりスプリンクラー設備設置
平成 23 年 08 月 30 日	本館個浴室新設その他改修工事着手(第1期改修工事)
平成 23 年 11 月 01 日	高齢者地域支え合い体制づくり事業 地域貢献事業(懐かしの映画上映会の設置)
平成 23 年 12 月 01 日	高齢者地域支え合い体制づくり事業 高齢者宅雪かき応援隊の設置
平成 23 年 12 月 03 日	開園25周年記念行事「生きる力」廣岡兼純氏記念講演
平成 24 年 01 月 24 日	本館個浴室新設その他改修工事完了
平成 24 年 04 月 01 日	登録喀痰吸引等事業者・登録特定行為事業者登録
平成 24 年 07 月 01 日	地域支え合い推進事業 福祉避難所連携模索事業実施
平成 24 年 08 月 01 日	新館個浴室新設その他改修工事着手(第2期改修工事)～12月28日工事完了
平成 25 年 05 月 01 日	輪島市指定配食サービス事業者指定(三井地区対象)
平成 25 年 09 月 21 日	デイサービスセンター改修工事着手(第3期改修工事)～平成26年1月27日完了
平成 25 年 10 月 08 日	石川労働局長より安全衛生表彰受賞
平成 26 年 04 月 01 日	法人独自の配食サービス事業実施
平成 26 年 07 月 01 日	社会福祉法人門前町福祉会より配食サービス事業の一部引継(門前町本郷地区)
平成 26 年 12 月 28 日	第4期改修工事完了
平成 27 年 04 月 01 日	輪島市と介護予防普及啓発事業受託・高齢者筋力向上トレーニング事業受託
平成 27 年 06 月 01 日	デイサービス定員を25名から30名へ
平成 27 年 06 月 15 日	登録喀痰吸引等事業者・登録特定行為事業者登録(デイサービスセンター、訪問入浴介護センター)
平成 27 年 07 月 23 日	第5期改修工事着手～平成27年12月28日完了
平成 27 年 08 月 01 日	無料相談コーナー『しせつの窓口』をショッピングセンター内で開設(輪島市宅田町)
平成 27 年 12 月 15 日	登録喀痰吸引等事業者・登録特定行為事業者登録(訪問介護センター)
平成 28 年 02 月 01 日	認知症対応型通所介護事業所建設のため輪島市と土地の賃貸借契約
平成 28 年 03 月 30 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設工事請負契約締結、工事着手
平成 28 年 04 月 01 日	社会福祉法等の一部を改正する法律施行
平成 28 年 04 月 01 日	食事サービス提供業務委託開始(特別養護老人ホーム)、総合相談業務等に関する業務委託(輪島市)
平成 28 年 04 月 06 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設工事安全祈願祭
平成 28 年 07 月 31 日	あての木園ふげしデイサービスセンター建設工事竣工
平成 28 年 08 月 05 日	第6期改修工事着手(三井町)～12月28日完了
平成 28 年 08 月 10 日	あての木園ふげしデイサービスセンター事業開始
平成 28 年 10 月 07 日	一般高齢者を対象とした法人自主事業(元気デイ)の実施開始
平成 28 年 12 月 28 日	あての木園新館給湯配管改修工事着手(三井町)～3月31日完了
平成 29 年 03 月 26 日	あての木園開園30周年記念行事「老いてこそロック」豊田勇造氏コンサート
平成 29 年 04 月 01 日	訪問入浴介護センターを(堀町9字25番地)移転、介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA(元気デイ・堀町)、通所型サービスC(筋トレ・三井町)開始、総合相談事業受託(三井町、鶴巣、鳳至、海士)
平成 29 年 06 月 15 日	グリーンカフェ(認知症カフェ)開始(堀町)
平成 29 年 09 月 01 日	IC カードによる出退勤管理の開始
平成 29 年 09 月 11 日	第7期改修工事着手(三井町)～12月2日完了
平成 29 年 10 月 23 日	台風21号により屋根の一部損壊、施設敷地外の倒木(3本)
平成 29 年 12 月	全国老人福祉施設協議会 第10回介護作文・フォトコンテスト「フォト部門」入選
平成 29 年 12 月 20 日	グリーンカフェ(認知症カフェ)開始(三井町)
平成 30 年 01 月 24 日	寒波により市内の水道管の破裂のため、三井地区断水(28日～2月3日まで)
平成 30 年 03 月 07 日	輪島市内における社会福祉法人連携による取組開始
平成 30 年 04 月 01 日	輪島市介護予防・日常生活支援総合事業の指定 輪島市との土地賃貸借契約締結
平成 30 年 04 月 12 日	被爆者一般疾病医療を担当する機関の指定 (あての木園デイサービスセンター)
平成 30 年 05 月 01 日	堀町9字25番地にあての木園ふげし居宅介護支援事務所開設(輪島市指定)

平成 30 年 07 月 20 日	第8期改修工事着手(三井町)～10月31日完了
平成 30 年 07 月 21 日	法人初の地域へ情報発信事業 輪島市福祉会フェアの開催
平成 30 年 10 月	介護老人福祉施設における適切な費用構造に関する調査実施(全国老人福祉施設協議会)
平成 30 年 12 月 03 日	あての木園デイサービスセンター浴室改修工事着手～12月18日完了
平成 31 年 02 月 01 日	穴水町介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)の指定
令和元年 07 月 10 日	あての木園 新館居室換気設備改修工事着手～8月10日完了
令和元年 07 月 22 日	あての木園 本館廊下改修工事着手～8月22日完了
令和元年 07 月 23 日	かがやき健康企業宣言事業所証 (全国健康保険協会石川支部)
令和元年 08 月 01 日	税理士事務所と会計管理体制の整備・運用状況の点検指導委託契約締結
令和元年 09 月 10 日	福祉サービス第三者評価受審(特別養護老人ホーム、短期入所センター)
令和 02 年 03 月 01 日	いしかわ魅力ある福祉職場認定
令和 02 年 03 月 13 日	能登地方震度5強の地震 (建物被害有)
令和 02 年 06 月 30 日	役員等報酬規程の見直し
令和 02 年 07 月 01 日	社会保険労務士事務所と労務管理等の委託契約締結
令和 02 年 08 月 24 日	かがやき健康企業認定 (全国健康保険協会石川支部)
令和 02 年 11 月 21 日	あての木園にてオーケストラアンサンブル金沢のメンバーによる室内楽
令和 03 年 03 月	三井町施設内全館 Wi-Fi 工事完了
令和 03 年 04 月 01 日	健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)認定法人
令和 03 年 07 月 12 日	あての木園 中央通廊下改修工事着手～7月26日完了
令和 03 年 08 月 12 日	輪島市生活支援体制整備事業「よりあい構想」に参画
令和 03 年 09 月 17 日	「いしかわ婚活応援企業」の認定
令和 03 年 11 月 19 日	「石川県パパ子育て応援企業」の認定
令和 04 年 02 月	三井町施設内防犯カメラ設置工事完了
令和 04 年 02 月 25 日	石川県ワークライフバランス企業 優良企業賞受賞
令和 04 年 05 月 12 日	脱衣室用天井吊り上げ式リフター4ヶ所設置完了
令和 04 年 08 月 22 日	アウトブレイク(新型コロナウイルス感染)施設内感染～9月20日解除
令和05年01月25日～02月02日	1月25日の寒波により市内の水道管の破裂のため、断水
令和 05 年 02 月 28 日	しせつの窓口営業停止
令和 05 年 03 月 01 日	いしかわ魅力ある福祉職場認定更新(認定期間 令和8年2月28日)
令和 05 年 05 月 05 日	能登地方震度6強の地震 建物被害有(庇・居室)
令和 05 年 05 月 26 日	居室天井走行リフト設置工事(4居室)完了
令和 05 年 07 月 25 日	輪島市杉平町鬼田の土地及び建物の取得及び登記完了
令和 05 年 07 月 31 日	能登地方地震による建物被害補修完了
令和 05 年 08 月 01 日	配食サービス利用者負担50円、食事提供利用者負担10円の料金アップ 「石川県パパ子育て応援企業」令和9年3月31日まで有効
令和 06 年 01 月 01 日	令和6年能登半島地震 震度7の地震(16時10分発生)
令和 06 年 01 月 12 日	建物被害大きく、停電・断水が続くため施設入居者全員2次避難をする
令和 06 年 02 月 17 日	あての木園デイサービスセンターを三井地区避難所の一部としシャワー設備を設置
令和 06 年 02 月 26 日	あての木園デイサービスセンター営業再開する
令和 06 年 03 月 01 日	あての木園訪問介護センター営業再開する
令和 06 年 03 月 18 日	あての木園ふげしデイサービスセンター営業再開する
令和 06 年 04 月 01 日	仮設型応急仮設住宅用地についての覚書取り交し(輪島市)
令和 06 年 04 月 05 日	あての木園訪問入浴介護センター営業再開する
令和 06 年 04 月 08 日	三井町拠点 輪島市水道水通水する(引き込み配管が破損しており水漏れ数ヶ所)
令和 06 年 04 月 10 日	厚生労働省老健局総務課 奥村総括調整官室長、石川県健康福祉部 塗師次長、長寿社会課 窪田課長、長寿社会課 善田課参事兼課長補佐、地域包括ケア推進グループ 辻野課長補佐 三井町拠点来園
令和 06 年 05 月 01 日	在宅サービス通常営業開始(訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、認知症対応型通所介護、通所型サービス、訪問型サービス、通所型サービスA、通所型サービスC)あての木園ふげし居宅介護支援事務所(休業:令和6年5月1日～令和8年4月30日)
令和 06 年 06 月 01 日	特別養護老人ホーム及び短期入所職員も全員通常業務となる(休業終了) 災害や食中毒等における施設の相互支援に関する覚書取り交し(市立輪島病院)
令和 06 年 06 月 14 日	輪島市行政財産使用許可の決定
令和 06 年 06 月 17 日	全国社会福祉協議会 村木厚子会長、金井正人常務理事、鈴木史郎総務部長来園

令和 06 年 06 月 21 日	社会福祉施設等災害復興復旧費国庫補助金協議書の申請
令和 06 年 07 月 01 日	社会福祉法人白字会に応援職員5名派遣
令和 06 年 07 月 05 日	石川県社会福祉法人経営者協議会 南真次会長来園
令和 06 年 07 月 22 日	特別養護老人ホーム入居者受入再開(戻しの入居者の受入れ)
令和 06 年 07 月 26 日	公益社団法人全国老人福祉施設協議会 大山知子会長、瀬戸雅嗣副会長、里村浩事務局長、下本英明秘書室長来園
令和 06 年 09 月 21 日	奥能登豪雨(観測史上最大となる雨量351mm) 9月26日正午断水解消
令和 06 年 10 月 01 日	グループホームひなたぼこの受入れ～令和7年5月27日まで
令和 06 年 10 月 08 日	奥能登豪雨のため被災地へ施設間応援派遣職員(石川県看護協会)受入れ
令和 06 年 11 月 04 日	全国老人福祉施設協議会「災害時派遣福祉チーム」の受入れ開始～令和7年5月30日まで
令和 06 年 11 月 08 日	輪島市水道水通水(4月8日)から配管修理完了し全館通水可能となる
令和 06 年 11 月 10 日	全国社会福祉協議会 古都賢一副会長、吉村尚也法人振興部長来園
令和 06 年 11 月 25 日	アウトブレイク(新型コロナウイルス)～12月19日解除
令和 07 年 06 月 12 日	特別養護老人ホームの厨房の再活動
令和 07 年 06 月 13 日	あての木園デイサービス、センター内で通常営業再開
令和 07 年 06 月 17 日	北陸労働金庫理事長表彰
令和 07 年 06 月 25 日	特別養護老人ホーム内の全てのトイレ使用可能となる※合併浄化槽工事完了
令和 07 年 07 月 10 日	社会福祉施設等災害復興復旧費国庫補助金協議書机上査定
令和 07 年 08 月 01 日	特別養護老人ホーム調理委託業者モバイル調理開始
令和 07 年 08 月 10 日	三井地区観測史上最大の降水量165mmを観測
令和 07 年 08 月 21 日	あての木園ふげしデイサービス社会福祉施設等災害復興費補助金交付決定
令和 07 年 08 月 28 日	三井町拠点の視察 厚生労働省 林俊宏審議官(老健、障害保健福祉担当)(社会・援護局併任)、老健局 濱本健司高齢者支援課長、老健局 清水修認知症施策・地域介護推進課 課長補佐、老健局 岸英二高齢者支援課 課長補佐
令和 07 年 10 月 1 日	配食サービス再開

■令和7年10月1日より 配食サービスを再開

・利用者負担 470円/食 ・輪島市からの委託料 420円/食

※実費相当分の利用を希望される方は890円/食

サービス提供地域:三井町

提供内容:昼の配食(11:00～12:30)と夕の配食(16:00～17:00)の提供

※天候や道路状況によって異なる場合があります

※市町村が出す避難情報が警戒レベル3以上(高齢者等避難)の避難情報が発表された場合、職員の安全確保のため、原則、サービスの提供は中止いたします

- ・管理栄養士が管理しているお弁当で「**健康維持**」
- ・施設職員による 利用者の皆さんの生活の「**見守り**」

輪島市「食」の自立支援事業実施要綱に基づく配食サービス

■食事の内容:

○栄養バランスに配慮した普通食を提供し、1食当たり基準栄養量は、エネルギー量 500～600 キロカロリー、塩分4グラムを目安として提供します

○減塩食、刻み食などの体調に応じた食事、及び季節や行事に合わせた、行事食にも対応します

※粥食、あら刻み、刻み食、ソフト食、糖尿病食等も対応可能です。ご相談ください

○配食サービス専用容器で温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供します

■利用できる方

(対象者) 輪島市三井町に住所を有する方で

- ・おおむね 65 歳以上の高齢者又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯もしくは、障害者のみの世帯に属する方で、食の調理が困難な方
- ・日中、要介護又は要支援認定を受けた方のみとなる世帯に属する方で、食事の調理が困難かつ他からの食事の提供が受けられない方
- ・輪島市長が特に認める方

※輪島市「食」の自立支援事業実施要項に基づく配食サービスを利用しない場合はご相談下さい(実費相当分の負担となります)

■緊急時の対応:

・安否確認時等に利用者の心身の状態に、異常があると判断したときは、直ちに関係機関及び、あらかじめ利用者が指定する緊急連絡先に、連絡するとともに、必要な措置を講じます

■事故発生時の対応:

○不測の事態が発生したとき、又は利用者に対する配食サービスの提供により、事故が発生したときは、直ちに市町に報告するとともに、必要な措置を講じます

○利用者に対する配食サービスの提供により、損害すべき事故が発生したときは、速やかに損害賠償を行います

■苦情や要望について:

○『お弁当が配達されない』『食事の味がおかしい』『食事内容を変更してほしい』『お弁当の回数を増やしたい』『お弁当の数を減らしたい』等、配食サービスについての苦情や要望について、以下の連絡先にご連絡をお願いいたします

(特別養護老人ホームあての木園) ☎(0768)26-1661 Fax(0768)26-1751

(あての木園在宅介護支援センター) ☎(0768)26-1788 Fax(0768)26-1778

配食用専用容器



■ 法人が行っている事業

■介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

○介護老人福祉施設とは……

・特別養護老人ホームであって、その施設が提供するサービスの内容、これを担当する者などを定めた計画(施設サービス計画)に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、そのほかの日常生活を送るうえで必要となるサービス、機能訓練、健康管理及び療養上のサービスを提供することを目的とする施設です

・介護老人福祉施設で提供される、このようなサービスを「介護福祉施設サービス」といいます。

○入居対象者

①要介護3から要介護5までの要介護の方

②要介護1又は2の要介護者で特例的な施設へ入居が認められる方

○特定入居の要件の判定について

①認知症がある方であって、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられる方

②知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られる方

③家族等による深刻な虐待が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難な方

④単身世帯又は同居家族が高齢又は病弱である等により、家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の提供が不十分である場合

■短期入所(ショートステイ)

○短期入所生活介護とは……

・特別養護老人ホームなどの福祉施設に短期間入所してもらい、食事、入浴、その他の必要な生活上の支援や機能訓練を行うサービスです

- ・一定期間、介護から解放される利用者家族にとっても、自分の時間を持つことができ、介護負担の軽減を図ることもできます。また利用者家族の病気や冠婚葬祭、出張などで一時的に在宅介護が困難な時に役に立ちます

○介護予防短期入所生活介護とは……

- ・特別養護老人ホームなどの福祉施設に短期間入所してもらい、食事、入浴、その他の必要な生活上の支援や機能訓練を行うサービスです
- ・一定期間、介護から解放される利用者家族にとっても、自分の時間を持つことができ介護負担の軽減を図ることもできます
- ・また利用者家族の病気や冠婚葬祭、出張などで一時的に在宅介護が困難な時に、役に立ちます。要介護状態になることをできる限り防ぐ(発生を予防する)、あるいは状態がそれ以上悪化しないようにすることを目的としています
- ・高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるように支援します。

■訪問介護(ホームヘルプ)

○訪問介護とは…… 住み慣れた家で利用できる基本サービス

- ・介護福祉士や訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、掃除等の家事を行うサービスです

○訪問介護相当サービスとは…… 住み慣れた家で利用できる基本サービス

- ・介護福祉士や訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、掃除等の家事を行うサービスです
- ・要介護状態になることをできる限り防ぐ(発生を予防する)、あるいは状態がそれ以上悪化しないようにすることを目的としています
- ・高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援します

■通所介護(デイサービス)

○通所介護とは……施設などにおいて日帰り介護や生活機能訓練などを行うサービス

- ・日中、老人デイサービスセンターなどに通ってもらい、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などを日帰りで提供するサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図ります

○通所介護相当サービスとは……施設などにおいて日帰り介護や生活機能訓練などを行うサービス

- ・日中、老人デイサービスセンターなどに通ってもらい、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や、生活機能訓練などを日帰りで提供するサービスで、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図ります
- ・要介護状態になることをできる限り防ぐ(発生を予防する)、あるいは状態がそれ以上悪化しないようにすることを目的としています
- ・高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援します

■認知症対応型通所介護(認知デイ)

○認知症対応型通所介護とは……認知症の方に対応するデイサービス

- ・老人デイサービスセンターや特別養護老人ホームなどにおいて、通所してきた認知症の利用者に対して、入浴、排せつ、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練(リハビリテーション)等を行います

○介護予防認知症対応型通所介護とは……認知症のある軽度の方に対するデイサービス

- ・老人デイサービスセンターや特別養護老人ホームなどにおいて、通所してきた認知症の利用者に対して、入浴、排せつ、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練(リハビリテーション)等を行います
- ・要介護状態になることをできる限り防ぐ(発生を予防する)、あるいは状態がそれ以上悪化しないようにすることを目的としています
- ・高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援します。

■訪問入浴介護

○訪問入浴介護とは……家庭での入浴が困難な方へのサービス

- ・自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、浴槽を積んだ入浴車が利用者の居宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行うサービスです

○介護予防訪問入浴介護とは……家庭での入浴が困難な方へのサービス

- ・自宅の浴槽での入浴が困難な方に対して、浴槽を積んだ入浴車が利用者の居宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行うサービスです
- ・要介護状態になることをできる限り防ぐ(発生を予防する)、あるいは状態がそれ以上悪化しないようにすることを目的としています
- ・高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援します。

■居宅介護支援

○居宅介護支援とは……自宅で自立した生活をするためのケアプランの作成やサービス調整

- ・介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー(介護支援専門員)が心身の状況や生活環境、本人・家族の要望等にそってケアプランを作成し、様々な介護サービスの連絡・調整などを行います

■在宅介護支援センター

○在宅介護支援センターとは……

- ・自宅で暮らしている援護が必要な高齢者や、援護が必要となるおそれのある高齢者、その家族の方などからの相談に応じ、介護等に関するニーズに対応した各種の保険、福祉サービス(介護保険を含む)が、総合的に受けられるように市町村等関係行政機関、サービス実施機関、居宅介護支援事業所等との連絡調整等を行います

■介護予防・日常生活支援総合事業

○通所型サービスA

- ・輪島市が認めた対象者に対し、あての木園ふげしデイサービスセンターで機能訓練等のプログラムを実施し、在宅生活の継続を支援します

○通所型サービスC(高齢者筋力向上トレーニング事業)

- ・あての木園デイサービスセンターにて高齢者向けトレーニング機器を整備し、筋トレを実施しています

■法人独自の自主活動

○健康づくり教室

専門職のスタッフを派遣して以下の健康づくりのための教室を開催します(1講座 約10分～30分程度)

- ・介護福祉士 ・介護支援専門員 ・歯科衛生士 ・生活相談員
- ・管理栄養士 ・機能訓練指導員 ・看護師 など

○施設見学及び福祉機器見学会

- ・入浴体験(檜風呂・家庭風呂・機械浴)
- ・入浴機器の見学
- ・車いすや歩行器、ベッド等の福祉機器の見学
- ・訪問入浴車の操作見学 ※
- ・福祉車両の見学 ※
- ・特別養護老人ホーム あての木園の見学
- ・あての木園デイサービスセンター／あての木園ふげしデイサービスセンターの見学

○グリーンカフェ(認知症カフェ)

- ・認知症の方のその家族をはじめ認知症に関心のある方が集まり、情報交換や交流をする中で認知症と向き合うための場で、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場です

○しせつの窓口

- ・地域福祉や地域の皆さまの生活支援のため 身近な場所での相談窓口を開催
- ・対応する専門職は 施設職員
- ・相談内容については、秘密厳守
- ・相談のある方は、施設にお越しください

■ 全国老施協 DWAT(災害派遣福祉チーム)の活動

JS 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service

応援ありがとうございました





2024/11/4～2025/05/27

■令和6年11月より、DWAT(災害時派遣福祉チーム)が応援に来ました。

栃木県老人福祉施設協議会、福島県老人福祉施設協議会、宮城県老人福祉施設協議会、愛知県老人福祉施設協議会、名古屋市老人福祉施設協議会、三重県老人福祉施設協議会、岐阜県老人福祉施設協議会、福井県老人福祉施設協議会、富山県老人福祉施設協議会、石川県老人福祉施設協議会のDWATの57名が、延べ285日活動

特別養護老人ホームやデイサービスで活動

活動内容：入居者・利用者の介護や生活支援

その他：宿泊施設がないため、特別養護老人ホームの空きベッドを活用して宿泊

■ 令和6年度 事業報告 ～令和6年能登半島地震,奥能登豪雨からの復興～

1)法人運営

1. 基本的事項

「尊厳」

「令和6年能登半島地震」により休業状態となりましたが、5月からは在宅サービス部門の事業再開、6月からは施設サービス部門の事業再開をしました。しかしながら、施設内の水道管給湯管排水管の破損により事業再開は一部しか実施できず、修繕をしながらの事業再開となりました。また、利用者及び入居者も地域から避難しており、「戻しの受入れ」が主となり、サービス提供が少ない状況から再スタートでした。職員が約半数離職したことも伴い事業を再開した運営は大変厳しい状況でした。

事業を実施することにより入居者や利用者が増えてきており、人材確保をしながら地域のニーズに適切に対応できるように事業継続に取り組みました。

「共生」

堀町拠点で8月から「特定非営利活動法人ぐるんとびー」「一般社団法人こころのケアまごころ」から派遣された看護師と連携しながら仮設住宅の支援に取り組みました。また、社会保険労務士による職員対象としたよろず相談会を月1回開催し、職員の不安軽減や解消に努めました。

9月の奥能登豪雨により事業継続が難しくなった市内のGHの入居者や職員を受入、三井町拠点の事業所で事業を続けられるようにしました。

11月からは、奥能登豪雨により被災した職員や精神的な支えを必要と判断し、公益社団法人全国老人福祉施設協議会の災害派遣福祉チーム(老施協 DWAT)の受入れを行い、サービスの質の維持、職員の災害による精神的な不安の解消や身体的負担の軽減に努めました。

令和6年能登半島地震後の能登地区の医療・介護・福祉施設の入所者の避難後の生存時間解析の研究調査にも協力しました。

「向上」

「居宅介護支援」「通所介護」「訪問介護」「訪問入浴介護」「認知症対応型通所介護」「介護老人福祉施設」「通所型サービスA」「通所型サービスC」「訪問型サービス」「通所型サービス」は事業を再開できました。ただ、「短期入所」「配食サービス」の事業再開については令和7年度以降となります。「令和6年能登半島地震」の状況や対応について、「居宅介護支援」「訪問介護」の職員が職能団体に発表、施設の状況についてマスメディアの取材に対応し、広く施設の状況を知ってもらえるように努力しました。また、HPでも事業の運営状況について公開しました。

「人材」

「令和6年 能登半島地震」で事業が休業となりましたので、退職する方が法人全体の半数となりました。5月から事業を再開しましたが、退職する方は続きました。このような状況の中、7月より職員採用を開始し、11月からは石川県の介護助手活用促進事業に取組み伴走支援を受けながら介護助手の募集も開始しました。

■ 令和6年度の受賞・認定

なし

2. 理事会、評議員会等の開催状況

理事会 4回開催

6月10日 理事8名中8名出席 監事2名出席	・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度決算報告の承認について ・定款の一部改正について ・施設長等の選任について ・輪島市福祉会サービスステーション、地域交流センター建設工事計画について ・令和6年能登半島地震からの復興計画について ・定時評議員会の招集について ・運営規程の一部改正について ・契約について
9月25日 理事8名中7名出席 監事2名出席	・就業規則の一部改正について ・臨時職員就業規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・公費解体後の土地の活用について ・令和6年能登半島地震からの復興について

	・仮設住宅等における通所、在宅サービスの復興拠点(サポート拠点)の運営について
12月10日 理事8名中8名出席 監事2名出席	・育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・臨時職員就業規則の一部改正について ・賃貸借契約について ・第三者委員の選考について
3月18日 理事8名中7名出席 監事2名出席	・令和6年度1次補正収支予算(案)について ・令和7年度事業計画(案)について ・令和7年度収支予算(案)について ・業務委託契約の承認について ・令和6年度第2回評議員会の開催について ・契約変更について

評議員会 2 回開催

6月25日 評議員10名中8名出席 理事2名、監事1名出席	・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度決算報告の承認について ・定款の一部改正について ・輪島市福祉サービスステーション・地域交流センター建設事業計画について ・令和6年能登半島地震からの復興計画について
3月25日 評議員10名中7名出席 理事2名出席	・令和6年度1次補正収支予算(案)の承認について ・令和7年度事業計画(案)の承認について ・令和7年度収支予算(案)の承認について

評議員選任・解任委員会 1回開催

評議員選任・解任委員会	開催なし
-------------	------

3. 法人監査

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度 実施日 令和6年5月29日
指摘事項 なし

4. 財務運営

「令和6年能登半島地震」後、事業再開をしましたが、入居者や利用者が少なく「奥能登豪雨」の影響、建物の修繕、物価高騰による経費の増加により、令和6年度も財務運営については厳しい状況となりました。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
事業活動収入計	691,959,736	679,594,636	617,287,556	520,437,604	220,192,700
事業活動支出計	610,371,063	599,161,282	620,375,064	562,798,520	323,516,510
施設整備等収入	7,837,500	1,810,000	0	0	0
施設整備等支出計	27,442,760	43,607,400	32,038,680	113,517,870	82,241,500
その他の活動収入計	23,950,000	51,700,000	24,000,000	204,793,000	0
その他の活動支出計	40,600,000	59,750,000	24,000,000	1,970,000	0
当期末支払資金残高	341,875,278	372,461,232	337,305,044	384,249,258	198,683,948
固 定 資 産	1,295,838,478	1,261,091,167	1,203,936,240	1,025,822,025	1,020,943,397

2) サービス提供状況

1. 施設サービス

■特別養護老人ホーム 入居定員 100 名

7月22日から入居者の受入れを開始した特別養護老人ホームの令和6年度の延べ入居者数は 8,585 人、一日平均 23.46 人でした。併設の短期入所は休止で合計は 8,585 人、一日平均 23.46 人となります。令和6年度の介護職員及び看護職員の常勤換算は 7.82 人以上の配置が必要となります。※最も多い数字を赤字にしております

利用者数(前年度比較)	-15,926 人	一日平均(前年度比較)	-43.69 人
利用率(定員数÷(365 日×100))	23.46%		

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
特養	35,877 人	34,382 人	30,987 人	24,511 人	8,585 人
短期	5,839 人	6,541 人	6,375 人	3,705 人	0 人
合計	41,716 人	40,923 人	37,362 人	28,216 人	8,585 人

■適切に入居してもらうための取り組み ※最も多い数字を赤字にしております

全員退居(2次避難含め)してもらいましたが 7 月 22 日から施設に戻りたい希望のある入居者については「戻し」として受入れをしました。

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R2	0 人	1 人	3 人	12 人	19 人	35 人
R3	0 人	0 人	0 人	5 人	14 人	19 人
R4	0 人	0 人	13 人	30 人	6 人	49 人
R5	0 人	0 人	8 人	17 人	7 人	32 人
R6(2024)	0 人	3 人	13 人	16 人	13 人	45 人

■入居申込から入居までの期間について ※最も多い数字を赤字にしております

「令和6年能登半島地震」後、新規で入居された方のうち6ヶ月未満で入所された方が 92.8%でした。

年度	入居申込から1ヶ月未満	入居申込から1ヶ月以上3ヶ月未満	入居申込から3ヶ月以上6ヶ月未満	入居申込から6ヶ月以上1年未満	入居申込から1年以上	入居された方の合計
R2	10 人	13 人	6 人	5 人	1 人	35 人
R3	8 人	8 人	2 人	1 人	0 人	19 人
R4	13 人	18 人	8 人	7 人	3 人	49 人
R5	11 人	13 人	5 人	3 人	0 人	32 人
R6(2024)	4 人	5 人	4 人	0 人	1 人	14 人

■一日あたりの入居者数の推移

※97.5 以上を赤字にしています

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R2	2,940	3,073	2,958	3,070	3,061	2,987	3,045	2,936	3,062	2,997	2,716	3,032	35,877
平均	98.00	99.13	98.60	99.03	98.74	99.57	98.23	97.87	98.77	96.68	97.00	97.81	98.29
R3	2,925	3,075	2,977	3,071	2,931	2,792	2,872	2,810	2,855	2,806	2,532	2,709	34,382
平均	98.40	99.19	99.23	99.06	94.55	93.07	92.65	93.67	92.10	90.52	90.43	87.39	94.20
R4	2,605	2,730	2,748	2,887	2,860	2,389	2,425	2,394	2,534	2,589	2,266	2,560	30,987
平均	86.83	88.06	91.60	93.13	92.26	79.63	78.23	79.80	81.74	83.52	80.93	82.58	84.90
R5	2,570	2,656	2,601	2,696	2,657	2,536	2,700	2,523	2,671	901	0	0	24,511
平均	85.67	85.68	86.70	86.97	85.71	84.53	87.10	84.10	86.16	29.06	0.00	0.00	66.97
R6(2024)	0	0	0	63	427	951	1,259	1,226	1,133	1,124	1,082	1,320	8,585
平均	0.00	0.00	0.00	2.03	13.77	31.70	40.61	40.87	36.55	36.26	38.64	42.58	23.52

■看取り介護の取り組み

※最も多い数字を赤字にしております

年度	死亡退所の方	左の内訳			施設での死亡割合	看取り介護の件数	看取り介護の割合
		病院	施設	その他			
R2	32 人	2 人	29 人	1 人	90.63%	22 件	68.75%
R3	27 人	5 人	22 人	0 人	81.48%	17 件	62.96%
R4	50 人	5 人	44 人	1 人	88.00%	24 件	48.00%
R5	31 人	9 人	21 人	1 人	67.74%	15 件	48.39%
R6(2024)	9 人	2 人	7 人	0 人	77.78%	6 件	66.67%

2. 在宅サービス

■短期入所(短期入所・介護予防短期入所)※令和 6 年能登半島地震のため休止 定員20名

利用者数(前年度比較)	-3,705 人	利用率(定員数÷(366日×100))	0.00%
一日平均(前年度比較)	-10.12 人	送迎(前年度比較)	-825 回

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
利用者数	5,839 人	6,541 人	6,375 人	3,705 人	0 人
送迎	1,346 回	1,750 回	1,336 回	825 回	0 回

●短期入所の介護度別利用者割合 ※休業中 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	0.05%	0.00%	0.3%	0.40%	0.00%
要支援2	0.00%	0.20%	1.1%	1.00%	0.00%
要介護 1	16.46%	12.50%	9.1%	14.17%	0.00%
要介護 2	20.19%	18.00%	28.1%	30.85%	0.00%
要介護 3	32.15%	37.80%	33.9%	29.80%	0.00%
要介護 4	19.42%	18.60%	19.7%	13.17%	0.00%
要介護 5	11.73%	12.90%	7.8%	10.61%	0.00%

■訪問介護(訪問介護、訪問型サービス)

介護保険(前年度比較)		-145人	訪問型(前年度比較)		-41人
訪問回数(前年度比較)			-1,889回		
年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
介護保険	563人	508人	450人	310人	165人
訪問型	153人	162人	137人	107人	66人
訪問回数	10,849回	9,871回	7,915回	4,178回	2,289回

●訪問介護(訪問介護、訪問型サービス)の介護度別利用者割合 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	11.03%	7.46%	10.9%	10.31%	15.15%
要支援2	10.34%	16.72%	12.44%	15.35%	13.42%
要介護1	16.62%	24.04%	25.89%	21.34%	13.85%
要介護2	21.09%	15.37%	17.04%	24.94%	19.05%
要介護3	23.46%	17.01%	16.01%	17.99%	20.35%
要介護4	10.20%	11.19%	9.71%	5.52%	14.72%
要介護5	7.26%	8.21%	8.01%	4.56%	3.46%

■通所介護(通所介護、通所型サービス) 定員30人

介護保険(前年度比較)	-1,610人	通所型(前年度比較)	-96人		
合計(前年度比較)	-1,706人	一日平均(前年度比較)	-5.53人		
定員に対する利用率		27.08%			
年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
介護保険	5,163人	5,591人	3,988人	3,405人	1,795人
通所型	888人	705人	991人	787人	691人
合計	6,051人	6,296人	4,979人	4,192人	2,486人
一日平均	19.65人	20.44人	16.76人	13.65人	8.12人

●通所介護(通所介護、通所型サービス)の介護度別利用者割合 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	7.35%	8.18%	6.53%	4.06%	9.57%
要支援2	7.32%	7.07%	13.38%	14.72%	18.22%
要介護1	28.89%	30.61%	33.28%	34.23%	35.72%
要介護2	35.57%	28.18%	27.09%	25.62%	19.71%
要介護3	11.45%	17.17%	14.72%	15.98%	14.72%
要介護4	3.78%	5.05%	2.79%	4.48%	2.06%
要介護5	5.64%	3.74%	2.21%	0.91%	0.00%

■認知症対応型通所介護(介護予防認知症対応型通所介護) 定員12名

介護保険(前年度比較)	-400人	介護予防(前年度比較)	-66人
合計(前年度比較)	-466人	一日平均(前年度比較)	-1.8人
定員に対する利用率		50.52%	

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
介護保険	2,314人	2,402人	2,235人	1,789人	1,389人
介護予防	370人	335人	212人	217人	151人
合計	2,684人	2,737人	2,447人	2,006人	1,540人
一日平均	10.44人	10.65人	9.79人	7.87人	6.06人

●認知症対応型通所介護の介護度別利用者割合 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	4.17%	8.66%	3.68%	2.84%	1.95%
要支援2	9.61%	3.58%	4.98%	7.98%	7.86%
要介護1	35.47%	35.66%	44.79%	53.89%	38.96%
要介護2	33.42%	35.55%	31.79%	21.88%	39.22%
要介護3	15.57%	14.83%	13.98%	13.31%	11.62%
要介護4	1.76%	1.42%	0.41%	0.10%	0.00%
要介護5	0.00%	0.29%	0.37%	0.00%	0.39%

■訪問入浴介護(介護予防訪問入浴 輪島市身体障害訪問入浴)

介護保険(前年度比較)	-181人	介護予防(前年度比較)	0人
輪島市身体障害(前年度比較)	1人		
合計(前年度比較)	-180人	一日平均(前年度比較)	-0.70人

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
介護保険	898人	923人	761人	435人	254人
介護予防	0人	0人	0人	0人	0人
身体障害	76人	83人	71人	46人	47人
合計	974人	1,006人	832人	481人	301人
一日平均	3.76人	3.88人	3.37人	1.89人	1.19人

●訪問入浴介護の介護度別利用者割合 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
要支援2	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
要介護1	6.88%	3.88%	1.57%	0.00%	0.00%
要介護2	7.19%	6.26%	3.27%	0.21%	7.65%
要介護3	15.30%	13.32%	21.79%	22.87%	0.00%
要介護4	9.75%	22.66%	9.20%	7.28%	39.20%
要介護5	53.08%	45.63%	55.57%	60.08%	37.54%
障害者	7.80%	8.25%	8.60%	9.56%	15.61%

■居宅介護支援 ※堀町拠点 5月から休止

介護保険(前年度比較)	-437人	介護予防(前年度比較)	-216人
訪問調査(前年度比較)	-29人		

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
介護保険(三井)	953人	897人	701人	529人	494人
介護保険(堀)	538人	644人	614人	405人	3人
介護保険合計	1,491人	1,541人	1,315人	934人	497人
予防予防(三井)	262人	305人	424人	374人	240人
予防予防(堀)	119人	160人	152人	84人	2人
予防予防合計	381人	465人	576人	458人	242人
訪問調査(三井)	82人	66人	57人	41人	47人
訪問調査(堀)	42人	39人	45人	35人	0人
訪問調査合計	124人	105人	102人	76人	47人

●居宅介護支援の介護度別利用者割合 ※最も多い数字を赤字にしております

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
要支援1	14.00%	14.11%	16.55%	16.02%	15.41%
要支援2	6.36%	9.07%	13.91%	16.88%	17.30%
要介護1	31.35%	32.05%	25.65%	28.66%	29.97%
要介護2	24.31%	23.18%	22.26%	20.40%	24.52%
要介護3	12.39%	10.42%	11.63%	10.27%	9.67%
要介護4	6.57%	6.63%	5.82%	5.32%	2.72%
要介護5	5.02%	4.54%	4.18%	2.44%	0.41%

3. 地域支援

■在宅介護支援

相談件数(前年度比較)	-146件			
三井(前年度比較)	-67件	鳳至・鶴巣(前年度比較)	-79件	

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
相談件数	445件	572件	596件	392件	247件

上記の内訳

三井	238件	222件	296件	323件	146件
鳳至・鶴巣	151件	223件	276件	273件	101件

■配食サービス ※令和6年能登半島地震のため、休止

指定(前年度比較)	-3,313食	法人独自(前年度比較)	-3食
合計(前年度比較)	-3,316食	一日平均(前年度比較)	-9.06食

年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
輪島市指定	4,661食	3,674食	3,835食	3,313食	0食
法人独自	0食	0食	36食	3食	0食
合計	4,661食	3,674食	3,871食	3,316食	0食
実施日	365日	365日	365日	366日	0日
一日平均	12.77食	10.07食	10.51食	9.06食	0.00食

■通所型サービス A(元気デイ) 介護予防・日常生活支援総合事業

事業(前年度比較)	-305人	法人独自(前年度比較)	-131人		
合計(前年度比較)	-436人				
年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
参加人数	933人	995人	821人	615人	310人
法人独自	365人	357人	259人	233人	102人
合計	1,298人	1,352人	1,080人	848人	412人

■通所型サービス C(筋力向上トレーニング)介護予防・日常生活支援総合事業

事業(前年度比較)	-39人				
年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
人数	137人	151人	178人	190人	151人

■法人独自の自主活動

健康づくり教室、懐かしの映画上映会、グリーンカフェ(認知症カフェ)

教室(前年度比較)	-43回	上映会(前年度比較)	0回	カフェ(前年度比較)	0回
年度	R2	R3	R4	R5	R6(2024)
教室(三井)	33回	44回	47回	31回	6回
教室(堀)	25回	21回	24回	20回	2回
教室計	58回	65回	71回	51回	8回
上映会(三井)	0回	0回	0回	0回	0回
上映会(堀)	4回	6回	1回	0回	0回
上映会計	4回	6回	1回	0回	0回
カフェ(三井)	0回	0回	0回	0回	0回
カフェ(堀)	0回	0回	0回	0回	0回
カフェ(計)	0回	0回	0回	0回	0回

■除雪応援隊 出動「なし」

■施設の開放 令和7年3月30日 輪島市福祉会フェア in Spring の開催

■その他 職員派遣「あり」

- ・ヘルパー協議会及び介護支援専門員等に令和6年能登半島地震対応の報告を行う
- ・新聞、雑誌及びテレビ取材に対応し、施設の現状を伝えた
- ・全国から事業再開のため、様々な支援を受ける(物資の支援、人的支援など)

■ 令和6年度 決算報告

貸借対照表(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	187,476,573	368,001,665	△180,525,092	流動負債	13,741,681	18,330,348	△4,588,667
現金預金	145,974,346	337,525,314	△191,550,968	事業未払金	7,337,334	2,699,218	4,638,116
事業未収金	41,370,264	854,780	40,515,484	その他の未払金	2,355,307	2,900,855	△545,548
未収補助金	0	29,612,371	△29,612,371	預り金	493,972	3,378,876	△2,884,904
立替金	131,963	9,200	122,763	職員預り金	3,555,068	9,351,399	△5,796,331
固定資産	1,022,541,324	1,025,577,729	△3,036,405	負債の部合計	13,741,681	18,330,348	△4,588,667
基本財産	419,400,658	453,639,524	△34,238,866	純資産の部			
建物	419,400,658	453,639,524	△34,238,866	基本金	215,509,000	215,509,000	0
その他の固定資産	603,140,666	571,938,205	31,202,461	第一号基本金	215,509,000	215,509,000	0
土地	78,433,540	78,433,540	0	国庫補助金等特別積立金	211,945,473	234,966,414	△23,020,941
建物	154,789,446	180,759,070	△25,969,624	その他の積立金	188,807,000	188,807,000	0
構築物	752,201	817,001	△64,800	施設拡充等積立金	180,807,000	180,807,000	0
機械及び装置	53,412,452	62,261,048	△8,848,596	輪島市福祉会基金	8,000,000	8,000,000	0
車輛運搬具	2,475,423	5,141,008	△2,665,585	次期繰越活動増減差額	580,014,743	735,966,632	△155,951,889
器具及び備品	39,720,090	49,634,645	△9,914,555	(うち当期活動増減差額)	△155,951,889	△95,069,809	△60,882,080
建設仮勘定	81,136,000	0	81,136,000				
ソフトウェア	3,614,514	6,084,893	△2,470,379				
施設拡充等積立資産	180,807,000	180,807,000	0				
輪島市福祉会基金	8,000,000	8,000,000	0	純資産の部合計	1,196,276,216	1,375,249,046	△178,972,830
資産の部合計	1,210,017,897	1,393,579,394	△183,561,497	負債及び純資産の部合計	1,210,017,897	1,393,579,394	△183,561,497

財産目録(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金				0	0	145,974,346
現金				0	0	48,677
預金				0	0	145,925,669
小計(現金預金)						145,974,346
事業未収金				0	0	41,370,264
立替金				0	0	131,963
流動資産合計						187,476,573
2 固定資産						
(1) 基本財産						

	建物			0	0	419,400,658
基本財産合計						419,400,658
	(2) その他の固定資産					
	土地			0	0	78,433,540
	建物			0	0	154,789,446
	構築物			0	0	752,201
	機械及び装置			0	0	53,412,452
	車輛運搬具			0	0	2,475,423
	器具及び備品			0	0	39,720,090
	建設仮勘定			0	0	81,136,000
	ソフトウェア			0	0	3,614,514
	施設拡充等積立資産			0	0	180,807,000
	輪島市福祉会基金			0	0	8,000,000
その他の固定資産合計						603,140,666
固定資産合計						1,022,541,324
資産合計						1,210,017,897
II 負債の部						
	1 流動負債					
	事業未払金			0	0	7,337,334
	その他の未払金			0	0	2,355,307
	預り金			0	0	493,972
	職員預り金			0	0	3,555,068
流動負債合計						13,741,681
	2 固定負債					
固定負債合計						0
負債合計						13,741,681
差引純資産						1,196,276,216

資金収支計算書(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日) (単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	介護保険事業収入	164,467,000	163,897,228	569,772	
	経常経費寄附金収入	160,000	170,000	△10,000	
	受取利息配当金収入	46,000	151,476	△105,476	
	その他の収入	30,000,000	40,825,381	△10,825,381	
	事業活動収入計(1)	194,673,000	205,044,085	△10,371,085	
	人件費支出	217,032,000	215,318,938	1,713,062	
	事業費支出	30,488,000	27,759,856	2,728,144	
	事務費支出	66,618,000	55,617,841	11,000,159	
	利用者負担軽減額	50,000	42,375	7,625	
	事業活動支出計(2)	314,188,000	298,739,010	15,448,990	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△119,515,000	△93,694,925	△25,820,075	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	固定資産取得支出	82,000,000	82,241,500	△241,500	
	施設整備等支出計(5)	82,000,000	82,241,500	△241,500	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△82,000,000	△82,241,500	241,500	
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△201,515,000	△175,936,425	△25,578,575	
	前期末支払資金残高(12)	0	349,671,317	△349,671,317	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△201,515,000	173,734,892	△375,249,892	

事業活動計算書(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日) (単位:円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
	介護保険事業収益	163,897,228	442,161,457	△278,264,229	
	老人福祉事業収益	0	3,300,000	△3,300,000	
	経常経費寄附金収益	170,000	530,000	△360,000	
	サービス活動収益計(1)	164,067,228	445,991,457	△281,924,229	
	人件費	215,318,938	364,465,676	△149,146,738	
	事業費	27,759,856	61,510,299	△33,750,443	
	事務費	55,617,841	97,172,403	△41,554,562	
	利用者負担軽減額	42,375	213,630	△171,255	
	減価償却費	84,624,027	86,746,026	△2,121,999	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△23,020,941	△25,413,789	2,392,848	
	サービス活動費用計(2)	360,342,096	584,694,245	△224,352,149	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△196,274,868	△138,702,788	△57,572,080	
	受取利息配当金収益	151,476	2,328	149,148	
	その他のサービス活動外収益	40,825,381	44,960,652	△4,135,271	
	サービス活動外収益計(4)	40,976,857	44,962,980	△3,986,123	
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	40,976,857	44,962,980	△3,986,123	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△155,298,011	△93,739,808	△61,558,203	
	その他の特別収益	0	1,970,000	△1,970,000	
	特別収益計(8)	0	1,970,000	△1,970,000	
	固定資産売却損・処分損	653,878	1	653,877	
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	3,300,000	△3,300,000	
	特別費用計(9)	653,878	3,300,001	△2,646,123	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△653,878	△1,330,001	676,123	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△155,951,889	△95,069,809	△60,882,080	
	前期末繰越活動増減差額(12)	735,966,632	644,023,441	91,943,191	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	580,014,743	548,953,632	31,061,111	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	334,886,000	△334,886,000	
	その他の積立金積立額(16)	0	147,873,000	△147,873,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	580,014,743	735,966,632	△155,951,889	

■ 令和7年度 事業計画

- ・不適切なサービスのチェックと、不正な請求がないか確認
- ・HP を活用した情報開示(財務諸表、事業報告、復興状況等)
- ・適正な財務運営、未払金の対応
- ・被災者への支援、社会福祉法人間連携

法人理念		中期計画(2022 年度 ～2026年度)		3ヶ年計画(2025 年度 ～2026 年度)	令和7年(2025)年度 計画
尊厳	個人の尊厳を保持	①生活に潤いのある環境整備を行い、適切な施設整備に取り組みます		①令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興	・令和6年能登半島地震で被害を受けた施設の修繕が7月末で完了、速やかに適正な施設サービスの提供を開始する
		②感染、災害、防犯に強い施設を目指します		②令和6年度能登半島地震、奥能登豪雨からの復興	・設備の更新について検討及び計画策定(空調設備,給湯設備,受水槽)
		③人権を尊重します		③虐待防止、様々なハラスメントに適切に対応できるように取り組みます	・ハラスメントの適切な対応を学ぶ(職場内、利用者及び入居者、家族等)
共生	地域社会と共に自立した生活を営むことができるように支援します	①住みやすい輪島市の実現に向けて取り組みます		①令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興	・サービス提供量を増やす(在宅サービス,施設サービス)
		②輪島市内の社会福祉法人等と連携を図りながら、地域福祉に取り組みます		②令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興と社会福祉法人と協働	・災害時における法人間連携を検討する(事業継続のため)
		③心地よい居場所づくりを地域の方と協力しながら取り組みます		③令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興と法人独自の被災者支援	・被災者支援に取り組む
向上	社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図ります	居宅	①住み慣れた地域で生活が送れるように支援します	①令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興と交流できるようなサービス提供に努めます	・在宅サービスの提供量を増やす
			②関係機関と連携しながら最後の瞬間まで、自分らしく生きられる生活を支援します	②最後の瞬間まで、自分らしく生きられる生活を支援します	・看取り介護の実践
			③継続できるサービス提供に努めます	③令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興と事業が継続できるように取り組みます	・短期入所サービス,配食サービスの再開を目指す
		施設	①継続できるサービス提供に努めます	①令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興	・入居者数を50名から60名、そして80名までを目指す
			②最後の瞬間まで、自分らしく生きられる生活を支援します	②最期の瞬間まで、自分らしく生きられる生活を支援します	・看取り介護の丁寧な取組を行う
			③人権尊重しながら多職種協働・情報共有・連携を図ります	③社会規範に反することなく公正・公平に業務を遂行します	・適切な業務の遂行
		人材	①ワークライフバランスに配慮した労働環境の実現に取り組みます	①年次有給休暇、特別休暇の取得促進、育児短時間・育児休業取得等に取り組みます	・柔軟な働き方を実現するための措置の実施 ・子の看護等休暇取得促進,健康診断のための特別休暇の取得の浸透

		②業務軽減、福祉機器の導入、人材育成、人材確保に取り組めます	②業務軽減のため積極的な福祉機器の導入、ICT・IOT の導入、育成面談の継続、人材確保に取り組めます	・多様な人材の獲得と活躍の実現 ・多様な働き方の模索
		③組織の見直しに取り組めます	③組織の見直しを図り適切な人材の配置に取り組めます	・生産性の向上の取組を行いながら現場の余力を生み出しサービスの価値を高める

■ 令和7年度 予算概要

(単位:円)

勘定科目	経理区分	社会福祉事業 訪問介護,通所介護,短期入所,特養,認知症対応型通所介護	公益事業 訪問入浴,居宅介護支援,配食	法人全体
事業活動収入計(1)		299,682,000	18,262,000	317,944,000
事業活動支出計(2)		349,930,000	37,391,000	387,321,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-50,248,000	-19,129,000	-69,377,000
施設整備等収入計(4)		120,283,000	0	120,283,000
施設整備等支出計(5)		143,909,000	0	143,909,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-23,636,000	0	-23,626,000
その他の活動収入計(7)		31,700,000	25,200,000	56,900,000
その他の活動支出計(8)		0	0	0
その他の活動収支差額(9)=(7)-(8)		31,700,000	25,200,000	56,900,000
予備費支出(10)		0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-42,174,000	6,071,000	-36,103,000

■ 令和6年度 苦情受付状況

令和6(2024)年4月から令和7(2025)年3月

苦情受付件数	0	件
苦情の内容(上記の内訳)		
ア.ケアの内容に関わる事項	0	件
イ.職員の言動又は態度	0	件
ウ.個人の嗜好・選択に関わること	0	件
エ.制度、施策、法律に関わること	0	件
オ.その他	0	件
改善状況		
ア.改善した	0	件
イ.改善に向けて取り組み中	0	件
ウ.その他	0	件

■ 苦情受付未処理の状況

なし

■ 年度別苦情受付状況

年度	受付件数
令和2年度	8 件
令和3年度	6 件
令和4年度	5 件
令和5年度	5 件
令和6(2024)年度	0 件

(行政機関の苦情受付窓口)

輪島市健康福祉部福祉課 電話番号:(0768)23-1159 FAX番号:(0768)23-1196
石川県国民健康保険団体連合会 電話番号:(076)231-1110 FAX番号:(076)231-1601
石川県福祉サービス運営適正化委員会 電話番号:(076)234-2556 FAX番号 (076)234-2558

■ 役員名簿

職名	氏名	職名	氏名
理事長	前田 正彦	評議員	杉窪 厚子
理事	前田 裕子	評議員	曾又 博史
理事	上畠 忠雄	評議員	谷 由夫
理事	今井 善弘	評議員	橋爪 美土里
理事	田尻 佳代子	評議員	橋本 幸男
理事	坂下 敦子	評議員	田中 昭二
理事	北浜 陽子	評議員	山岸 順子
理事	谷口 広之	評議員	殿田 恵子
監事	向 憲龍	評議員	河崎 国幸
監事	若山 雅彦	評議員	前倉 正明

任期：
令和7年6月25日から令和8年度の最終の
ものに関する定時評議員会の終結の時まで

任期：
令和7年6月25日から令和10年度の最終の
ものに関する定時評議員会の終結の時まで

■ 善意のご寄附者 ご寄贈者

○小松 美鈴 様 ○有限会社 戸田商事 様 ○日比野 宅芳 様 ○堂上 頼子 様
○笠松 寿美子 様 ○財満 進 様 ○向井 文雄 様 ○株式会社 MTG 様
○大平 晋也 様 ○有限会社 村口産業・わだの木 様 ○能登ヘルプ 様 ○豊田 勇造 様
○佐々木 忠平 様 ○川口 安弘 様 ○辻 良尚 様 ○合同会社 オールブレイブス ECF 様
○スコップ三味線&おったま芸人一座 様 ○全国女性会館協議会 様
○介護老人福祉施設第三万陽苑 様 ○有限会社 ライフサポート 様 ○千住 明 様
○トイトーンズ 様 ○NPO 法人まちづくり小松 様 ○芦城児童クラブ 様 ○田中 普一 様
○震災支援ボランティア 様

■ 職員及び臨時職員 募集!! (令和8年4月1日採用含む)

正職員について	● 65歳未満 ● 学歴不問 ● 随時募集	
	介護職員(無資格応募可)	10名募集
	機能訓練指導員(理学療法士又は作業療法士)	2名募集
	看護職員(看護師又は准看護師)	3名募集
	介護支援専門員	2名募集
	生活相談員	3名募集
	介護事務職員	1名募集
臨時職員について	● 年齢不問 ● 学歴不問 ● 随時募集	
	看護職員(看護師又は准看護師)	3名募集
	介護職員(夜間勤務専従)	3名募集
	臨時訪問介護職員	3名募集
	訪問介護員(登録ヘルパー)	3名募集
	介護助手	3名募集
	運転手兼介護助手	3名募集

- ・職場見学も可能です
- ・是非、お問い合わせください

■ ボランティアを募集しています

- 歌や踊りの披露
 - 楽器演奏
 - 園芸
 - ボタンやほころびの直し
- その他のボランティアを募集しております



■ 活動報告とあたたかいご支援の記録

■ 百萬石ウインドオーケストラ ミニコンサート (2024/11/25)

GHひなたぼっこの紹介で「百萬石ウインドオーケストラ」の4名の有志の方によるコンサートが開催されました

演奏曲

「東京ブギウギ」

「赤とんぼ」

「ふるさと」

「川の流れるように」

アンコール

- ・お年寄りに聞きやすい演奏を行ってもらい、テンポのよい曲は手拍子も自然と出ました
- ・生の演奏会は本当に素晴らしいですね



■ 12月29日から1月6日の年末年始に施設サービスの応援をしていただいた「福島県立医科大学」の皆さん 2024/12/29～2025/1/6

■ 介護助手導入促進事業 説明会 (2025/1/19)

～あなたのできることを地域の人を支える仕事にしてみませんか？～
介護助手お仕事説明会 面談会 10:00～12:00 輪島市役所にて

●特養でのお仕事の内容

- ・飲み物の準備
- ・エプロンの準備
- ・お食事の準備、配膳
- ・食後のテーブル、床掃除
- ・お風呂の湯はり
- ・入浴の準備
- ・風呂掃除
- ・床掃除
- ・洗面台の清掃
- ・トイレ掃除、物品補充

▲デイでのお仕事の内容

- ・お食事前の手指消毒
- ・お食事の配膳、下膳

お仕事の内容を説明



- ・風呂掃除
- ・脱衣場の掃除
- ・洗面台の掃除
- ・洗濯物干し
- ・床掃除
- ・トイレ掃除、物品補充
- ・畳掃除
- ・玄関掃除
- ・椅子、机、歩行器等の拭き掃除
- ・ゴミ出し
- ・物品補充
- ・翌日の準備

面接



■ 伴走支援モデル事業所成果報告会 (2025/3/21)

石川県庁1階 101 会議室にて
伴走支援モデル事業を通じて介護助手
導入に取り組んだ成果を発表しました

・モデル事業所は

特別養護老人ホームあての木園
デイサービスセンターせんじゅ・なでしこ
特別養護老人ホーム長寿園
特別養護老人ホーム第二長寿園
珠洲市社会福祉協議会デイサービスセンター



■ 令和6(2024)年度 輪島市福祉フェア in Spring ～令和6年能登半島地震、奥能登豪雨からの復興を願って～start over again ～未来につなぐ～ (2025/3/30)

・雨の中に雪もまじる3月30日(日曜日)(※三井町の最低気温が-1.2℃、最高気温が 5.2℃の春には思えない寒さ)に令和6(2024)年度「輪島市福祉フェア in Spring)」を開催

・コロナ禍で開催できませんでした、令和5(2023)年11月25日(土曜日)に「輪島市福祉フェア」を開催し始めました

・しかし、令和6年能登半島地震、奥能登豪雨のため「輪島市福祉フェア」が開催できていなかったですが、1年4ヶ月ぶりに開催できました

さあ、もういっぺん！ 豊田勇造氏と一緒に記念撮影



参加者と一緒に記念撮影

■ 令和7年度 辞令交付式・職員表彰式 (2025/4/1)



表彰者を代表して謝辞を述べる増田所長

- ・4月1日(火曜日)午前9時30分 法人本部会議室にて辞令交付式が行われました
 - ・前田裕子理事長より令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の被害にあいながら、一生懸命に入居者や利用者に対して、献身的にサービス提供をしてきた職員に、感謝の言葉を述べられました
 - ・その後、4月1日採用した職員に対して辞令を交付採用された職員より、自分のキャリアを活かし、能力と技術を「あての木園」で発揮し、サービスの質の向上に貢献していきたい等、今後の抱負の発表もありました
 - ・辞令交付式終了後、永年勤続職員の表彰式が行われました
 - ・令和6年度については能登半島地震のため辞令交付式及び表彰式はできませんでしたので、令和6年度と令和7年度の2年分の表彰となりました
 - ・永年勤続の職員は17名で以下のとおりです
- | | |
|---------|---------------------|
| 10年勤続職員 | 鋪さん、谷内さん、浦野さん |
| 15年勤続職員 | 本口さん、大塚さん、中島さん |
| 20年勤続職員 | 干場さん、中村さん、熊谷さん、中村さん |
| 25年勤続職員 | 増田さん、立野さん、紺谷さん、柿木さん |
| 30年勤続職員 | 池上さん、谷内さん、上田さん |

■ 令和7年度『石川県福祉職合同入職式～石川の福祉は夢を語る～』石川県福祉職合同入職式

- ・石川県福祉職合同入職式が2年ぶりに開催されました
- ・石川県馳浩知事、石川県社会福祉法人経営者協議会南真次会長から励ましをもらい、参加者を代表し当法人の「平田」介護士が誓いの言葉を述べました



誓いの言葉を述べる平田介護士

誓いの言葉

新たに、福祉の仕事に携わる職員を代表して誓いの言葉を申し上げます

本日は私たちのために、このような盛大な入職式を開いていただき、心より感謝申し上げます

また、今ほどは、石川県福祉協議会会長でいらっしゃる石川県知事馳浩様、石川県社会福祉法人経営者協議会会長の南真次様から暖かい激励のお言葉を賜り、大変感謝しております

この先、仕事をしていく中で、迷い不安になった時は、本日頂いたお言葉を思い出し、誠心誠意福祉の仕事に全力を尽くしてまいります

私は、昨年一月一日の地震の影響により、当時勤めていた介護施設が被災し働けなくなりましたが、福祉の仕事を続けたいと思い、昨年十一月より社会福祉法人輪島市福祉会あての木園の介護士として一歩を踏み出しました。

輪島市福祉会では、「尊厳、共生、向上」という基本理念を掲げています

私自身その理念の実現を目指し、多様な在り方を相互に認め合える共生社会を目指します

そして、日々知識や技術の向上に努めてまいりたいと考えております

おわりに、本日の入職式開催のため、ご尽力いただきました皆様に重ねて、御礼を申し上げますとともに、今後とも格別のご指導ご鞭撻を承りますよう、お願い申し上げます、誓いの言葉とさせていただきます。

令和七年四月二十八日 職員代表 社会福祉法人 輪島市福祉会 あての木園 平田
参加施設82施設の122名を代表しての誓いの言葉だったので、とても緊張しました(本人談)

■ スコップ三味線&おったま芸人一座 災害支援 (2025/5/21)

協賛 浄土真宗本願寺派 光宗寺 協力 IBE 会
「こんな楽しいの初めて」と入居者の声
見たことない初めての「スコップ三味線」
入居者や利用者も演者として参加しました



・メンバーは、岐阜県加茂郡富加町の女性らを中心にした60～80歳代の男女18人で、今年1月、1年たっても悲しい思いで過ごしている、能登半島地震の被災者の姿をテレビで目にした団員から、被災地での慰問公演をしようとの声が上がったそうです

・メンバーが高齢のため、浄土真宗本願寺派 光宗寺の住職やスタッフの協力で運転などを担ってもらい、どうせ被災地を訪れるなら温泉旅館に1泊するなど、能登を応援しながら2日間の公演を行うことにしたそうです

・慰問公演は5月20日に穴水町の住吉公民館、5月21日に輪島市の河原田公民館、当施設の3か所で行われました

・「能登半島」「タットダンス」「トルコ行進曲」などを披露するほか、クラシックバレエや歌舞伎を取り入れた出し物、コントなどを披露しました

■ 奥能登豪雨からの避難、そして帰還 (2025/5/27)

- ・令和6年10月1日から、グループホームひなたぼっこの入居者及び職員を、輪島市三井町の特別養護老人ホームで受け入れをしておりましたが、令和7年5月27日にグループホームひなたぼっこの施設に戻りました（※約8ヶ月の期間 あての木園で生活をしていました）
- ・皆さん、安心した顔で 元の施設に戻って行けました
- ・令和6年能登半島地震、奥能登豪雨を経験したひなたぼっこの入居者や職員の皆さん、大変なことばかりかもしれませんが、あての木園は皆さんを応援いたします
- ・今後、様々な災害がおきる可能性があります
- ・あての木園とひなたぼっこ、輪島市内の施設同士で、お互いに力を合わせて、乗り越えていきましょう

■ ふるさと企業を知る会 (2025/6/19)

- ・令和7年度 ふるさと企業を知る会 輪島高等学校に 職員を2名派遣しました
- ・派遣した職員は、長谷介護福祉士、大野作業療法士
- ・地元企業9社が参加し、「会社の概要、仕事内容や仕事を通して感じていること、学んだこと」「輪島で働く魅力」「社会人として必要なこと、求められている人物、生徒へのメッセージ」などを伝えました
- ・ちょっと緊張しましたが、社会福祉の仕事の魅力を、伝えることができました(職員談)

■ 第三万陽苑 能登花いっぱいプロジェクト (2025/7/18)



・7月18日(金)社会福祉法人陽風園 特別養護老人ホーム第三万陽苑の山本尚也施設長、浅野裕美副施設長が来園され、入居者の方と一緒に育てたマリーゴールドのプランター3鉢を、あての木園に持ちってきました。

・令和6年能登半島地震で被災した地域を花いっぱいにし、心が休まるようにと、職員と入居者の方で、協力して取り組んできたそうです。

・マリーゴールドを見ながら、少しでも事業が前進するように取り組んでいきます



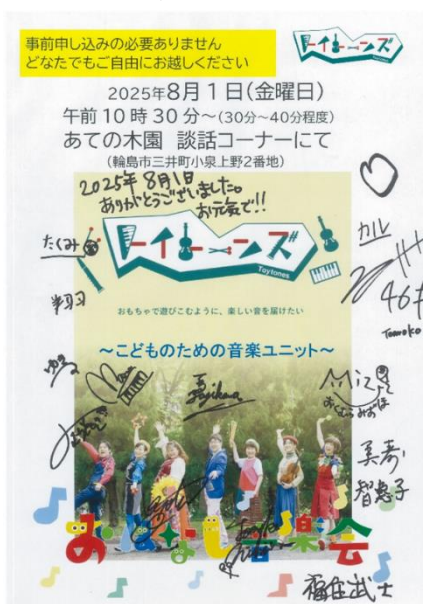
■ 作曲家「千住明」さん 歌手「石川さゆり」さん 訪問 (2025/7/24)



- ・7月23日に石川県立音楽堂にて 千住明活動40周年金沢公演「千住明 活動40周年 シンフォニックコンサート響き合う夜」が開催され、スペシャルゲストの石川さゆりさんと一緒に翌日、奥能登の支援にられました
- ・来園してすぐにデイサービス利用者、入居者全員と握手をされ、被災した皆さんに優しく話しかけられました
- ・利用者入居者の皆さん 国民的なスターと握手ができ、大変喜んでおりました



■ トイトーンズ 演奏会 (2025/8/1)



- ・子どもが楽しめるように演奏する音楽ユニット「トイトーンズ」の皆さんの演奏会がおこなわれました。
- ・関西を中心に活動し、能登半島地震の被災地支援で募金集めをしており、支援金もいただきました。
- ・今回の演奏会は、町野町の「富成ゆき」さんの協力により実現
- ・令和6年能登半島地震により、現在、富成さんは子供たちと一緒に大阪で生活を送られているそうです
- ・少しでも、輪島が元気になればと思い、夏休みの期間を利用して、富成さんの子どもさん2名も加わり、「トイトーンズ」の皆さんと一緒に、演奏会に同行していました
- ・輪島市内ではあての木園のほか、2カ所合計3ヶ所で演奏会を開催
- ・地域の方にも案内を行い、入居者やデイ利用者、地域の方と一緒に演奏会を楽しみました

←演奏会後 励ましのサインをもらいました



■ サマーボランティア体験 (2025/8/1~8/8)

・サマーボランティア体験事業とは

ボランティア活動への理解を深め誰もが、主体的に福祉のまちづくりに、参加することを目的に、青少年から社会人まで幅広い方々に、ボランティア活動を体験できる場を提供し、社会福祉施設や地域で高齢者の身の回りのお世話や、子どもの遊び相手などさまざまなボランティア活動を行います

・8月1日から8日までの間 2名がボランティア体験を行いました

・体験内容は、福祉施設での利用者とのコミュニケーションや利用者・職員のお手伝いなどに参加



金沢高校 3年生
山本 さん



石川県立総合看護
専門学校 1年生
岩田 さん

■ 月刊老協協の取材対応 ～能登半島地震の体験談、災害支援チーム DWAT の受入体験談～

今回の震災を体験して思うことは？

■全国老協協DWATについて

遠い道のりを来ていただくのは、申し訳ないし、時間ももったいない。登録者を増やして、できるだけ近県から来ていただくのが効率的

支援の効率を考えると、できるだけ近県から来ていただく方が無駄がありません。そのためには日頃から近隣施設との協力体制を構築しておく必要もあると思います。また支援を通して学び合ったことを日常業務にも活かすために、応援部隊が帰路につく日などに、短時間でも意見交換の時間を設けられたらよかったと思います。さらに、災害時でも介護報酬改定の届け出や雇用調整助成金の申請など事務作業が必要になります。もし可能であれば、事務的支援も受けられると大変助かります。

■全員避難するかどうかの選択について

避難して、戻ってきたあとのことまで考えておかなければいけなかった

避難とは一時的な退避であり、必ず戻ることを前提のはずなのに、避難後の施設の復旧作業や施設再開までの計画が不十分でした。全員避難が妥当だったのか、一部でも施設を継続運営する選択もあったのではないかと反省しています。避難の判断基準を明確にする必要があります。

また避難した施設は支援が得られにくいという問題もあります。もしも同じような災害がまた起きた場合は、可能な限り施設運営を継続する方法も追求した方がよいという教訓を得ました。



全国老協協DWATからの派遣職員(取材当日)



あての木園

■事業継続の難しさについて①

自分たちだけで変えられることではないが、インフラ(水道・電気)の早期復旧が重要。それにより事業継続の意欲が湧き、支援も確実に来るという希望をもつことができる

受水槽(36トン)が地震で破損するなど施設の水道回りに設備に深刻な被害がありました。配管も損傷していたため、水が全く供給されない状態が11月まで続きました。2025年2月時点で建物自体は復旧したもの、お湯は全館の2分の1しか使えない状態で、排水処理の問題は残っています。しかし簡易トイレの使用を徹底することで、衛生状態はある程度維持できるともわかりました。

2月末からはデイサービスの一部営業も再開し、循環式シャワーを設置して、避難者とデイサービス利用者の両方に提供しています。私も避難所暮らしを体験しましたが、そこでの経験から得られる情報や支援物資の活用方法は、施設運営の参考になりました。



取材当日も使用できるのは簡易トイレのみ

■事業継続の難しさについて②

目先だけではなく、半年後、1年後を考えたBCPの策定が必要

今回の災害を経験したうえで認識したのは、道路の寸断や重要設備の損壊など、施設ごとに事業継続が不可能となる条件は異なるので、それも考慮したうえで、必要な項目をBCPに組み込まなければならぬことです。

現在、入居者は40人程度にとどまり、収入面で厳しい状況が続いています。地震後、要介護認定者数は増加しているものの、実際のサービス利用者が減少しているのは、多くの住民が他地域に避難したままで、地域の介護サービスの需要が予想より低くなっているからです。

そして当施設でもキャパシティはあるものの、職員不足により受け入れ拡大は困難です。しかし社会福祉法人は地域にとって重要なものです。短期的なBCPだけでなく、長期的な事業継続のための対策を練ることが大切で、その一つとして全国老協協DWATの支援も5月まで延長させていただくことになりました。この応援を力になんとか頑張りたいと思っています。

地震発生時の16時10分ごろは施設内では夕食の準備中で退屈が止まりましたが、入居者・職員ともに幸い地震による怪我はありませんでした。建物内ではガス配管の破損や天井からの雨水が発生し、直後には断水・断電が発生。業者の応急処置を待って灯油の補充をしようと思っていたところ、建物内から灯油の臭いを感じ、職員がラケットを持って道路に出て、建物の外に灯油の臭いを求めました。この時手が地元のニュースで報道されたこともあり、地域の方のみならず、神奈川県の方からも

道路で掲げた
「灯油を分けてください」
の文字



支援を受けた施設に聞く
社会福祉法人輪島市福祉会
特別養護老人ホームあての木園
谷口 広之 施設長(上)
寺田 美代 副施設長(下)

入居者は全員避難。職員は全員休職。それでも早期の再開を願って、誰もいない園に続けた

このように設備の故障や備品不足などを理由として1月12日までに全入居者を避難させることとなり、一部の職員は緊急避難を要しました。一利用者を職員が送り出したあとも、それでも、この難関をなんとか乗り越えたい。職員の仕事を思い、たくいという心で、設備の修理や書類作りのために、私は誰もいないあての木園に通い続けました。

支援の灯油をいただき、広い食堂にグルマストローブをとり寄せました。さらに、私自身がガス、電気、ブレーカーなど、施設の設備について知識不足だったことにより、復旧作業に支障が出てしまったのは痛手です。停電のため光回線電話は全く使用できず、通話手段が限られました。光回線電話が使用可能となったのは2月中旬でした。

また自衛隊からの支援物資はありがたかったものの、インスチントライマンなど高齢者にたつもの、いまだ使えない設備が多いという困難が中絶したが、まずは在宅サービスから始め、7月22日、ついに入居者の受け入れを始めた。

法人の収益が震災前の約10分の1に減る中、雇用調整助成金・給付金の8割を頼り、残り2割の月約100万円は法人が負担していましたが、しかし、給付金を取りつつ、アルバイトまでで被災した自宅の片付けなども時間を取った職員にとっては、本格的に復旧するまでモチベーションは低かったといえます。

法人の収益が震災前の約10分の1に減る中、雇用調整助成金・給付金の8割を頼り、残り2割の月約100万円は法人が負担していましたが、しかし、給付金を取りつつ、アルバイトまでで被災した自宅の片付けなども時間を取った職員にとっては、本格的に復旧するまでモチベーションは低かったといえます。

被災による休業が、職員員の勤務意欲の低減に

震災前は16人いた職員のうち、自らが被災し、仮居先で仕事を始めたとして54人が退職しましたが、休業という形で残った職員の雇用を守るためと高齢者福祉の必要性を再認識したこと、事業の再開と継続に取り組むことを決意したことで、いまだ使えない設備が多いという困難が中絶したが、まずは在宅サービスから始め、7月22日、ついに入居者の受け入れを始めた。

■ 視察 (2025/8/28)

8月28日 厚生労働省職員が 三井拠点の復旧状況、利用者の状況、事業継続に関する困りごと、施設見学も含め視察にきました

・厚生労働省職員は、令和6年7月30日にも堀拠点の復旧状況、利用者の状況、事業継続に関する困りごと等施設見学も含め視察にられました

厚生労働省 老健局長 黒田 秀郎 氏

厚生労働省 老健局 高齢者支援課長 峰村 浩司 氏

厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 課長補佐 清水 修 氏

厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 岡崎 優理 氏

・今回、視察にられた厚生労働省の皆さん

厚生労働省 審議官(老健、障害保健福祉担当)(社会・援護局併任)林 俊宏 氏

厚生労働省 老健局 高齢者支援課長 濱本 健司 氏

厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 課長補佐 清水 修 氏

厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 岸 英二 氏



意見交換の内容

- ・令和6年能登半島地震による入居者避難の状況、在宅福祉サービスの再開の状況、避難した入居者の受入れ状況、事業再開に関すること、職員の退職及び採用に関すること等を説明
- ・奥能登豪雨に伴う事業の影響、サービス提供状況に関すること等を説明
- ・財政的支援(物価高騰、被災地ならではの事業継続の難しさ、人件費等の援助)を要望
- ・人材確保に対する支援(県外からの人材派遣、被災地への応援職員の派遣等)を要望
- ・規模を縮小せざるを得ない特別養護老人ホームの再活用の方法についての意見交換などの意見交換後

理事長と施設長が災害被害復旧中の施設内を案内し、厚生労働省の職員が、施設内に働く職員の皆さんに、一人一人に励ましの言葉をかけられました

■ 実践研究発表 (訪問介護センター増田美奈子所長が発表) (2025/9/2~3)

・令和7年度 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会「石川大会」

～START 未来につなぐ一歩を、石川から～

令和7年9月2日(火)～3日(水) 石川県金沢市にて

実践研究 第5分科会 テーマ:未来につなぐ在宅サービスの新たな一歩

発表:令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の被災地で業務継続していく

発表者:あての木園訪問介護センター サービス提供責任者 増田美奈子所長 PC 操作 谷口広之

実践研究の発表内容

・自然災害の被害を受け、やむを得ず事業を休止したが、事業再開に取り組んだ活動について発表する具体的な取組

・地域の訪問介護事業所の休業が続き、通常のサービス提供実施地域(三井・河原田地区)を拡げ、旧輪島市内全域を通常のサービス提供実施地域とした

活動の成果と評価

・自然災害前の状況に少しでも戻れるように、出来るところから利用者へ挨拶まわりや、事業再開した案内の手紙を出した

- ・少しずつ利用者も増え訪問回数も増えていった

今後の課題

- ・住まいの再建に見通しが立たず、施設入所や他市町へ移住する方もおり、住み慣れた地域での暮らしができなくなってきている
- ・訪問系サービスに関わる介護職員や介護支援専門員が不足しており、増員することが困難
- ・要支援の方が増えてきており、訪問回数は増えてきたが、介護報酬収入増にはつながらない
- ・休業している訪問介護事業所の再開見込がないため、旧輪島市内全域を対象としたサービス提供となり、訪問のための移動時間や距離が長くなり、サービス提供ができない地域がある

最後に「あすなろ」の唄を歌う

- ・「あすなろ」はヒノキ科の木を指すだけでなく、未来に向かって努力しようとする姿を象徴する言葉
- ・「明日は檜になろう」という想いは、自然災害の被害を受けた地域であっても、成長し続けることの大切さを伝えるために、思いを込めて歌った
- ・自分自身や他者を励ます唄として、参加者の皆さんにも感動を与えました
- ・とても素晴らしい実践発表でした



■ 能登の合同企業説明会 (2025/9/19)

- ・能登の合同企業説明会に参加しました



- ・令和6年能登半島地震、奥能登豪雨で人手不足の企業が求職者に企業説明を行いました
- ・求職者数は少なく、人手不足が深刻な企業について、すぐに解決しそうもありません
- ・随時職員募集をしております

■ 能登を励ます絵手紙 NPO 法人 まちづくり小松 (2025/09/21)



- ・NPO 法人「まちづくり小松」が計画した「能登を励ます絵手紙」を、小松市内の「児童クラブ」の皆さんが作成し、9月21日(日)に「まちづくり小松」の山本理事長他役員4名があての木園に来園され、絵手紙が届けられました
- ・まちづくり小松の皆さんは令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の被害や現状を指導クラブの皆さんに説明をし、能登を励ます絵手紙づくりに協力を依頼してきたそうです
- ・あての木園には、芦城児童クラブの皆さんより「絵手紙」32枚 届けられました(石川県小松市西町25番地 小松市立芦城小学校内 芦城児童クラブ)

芦城児童クラブの皆さんからの絵手紙



■ 特別養護老人ホーム福寿園 家族会・職員 施設見学 (2025/9/27)



- ・社会福祉法人福寿会 南真次理事長、特別養護老人ホーム福寿園 西田清和家族会会長他家族会の皆さん、端久美施設長他施設職員の皆さんが、令和6年能登半島地震、奥能登豪雨で被災した当施設の見学にきました
- ・地震後の初動体制、入居者が全員避難した経過、避難した入居者が戻って来た状況、現在の施設の状況について説明を受け、施設見学を行いました
- ・家族会や職員の皆さん、真剣に施設の職員の説明を聞き、疑問点などの質疑応答がありました
- ・福寿園の皆さんには、避難先として入居者を受けてもらい、また、DWATの職員も派遣して頂きました
- ・私たちは、少しでも前に進んでいきます

■ 市民フォーラム 2025 (2025/09/27)



第28回 一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

日本福祉のまちづくり学会 全国大会 in 小松

- ・能登半島地震と福祉のまちづくり が 公立小松大学 中央キャンパスで開催されました
- ・全体ディスカッションで 谷口施設長がパネリストとして 能登半島地震の経験について話されました
- ・パネリストとして 公立小松大学 高山純一教授、公立小松大学 山本博学長、東北福祉大学 石塚教授、日本自動車研究所 鎌田 実所長がそれぞれの立場で、能登半島地震で被災した能登の持続可能な社会構築のための取組について発表されました
- ・地域の再生、地域での住まい、地域の移動手段、地域の生活など様々な視点での意見がでました
- ・能登の支援を継続的にお願いいたします

■ 職員応募者へメッセージ

- ・職員は、男女関わらず様々な職種の方が活躍しています。年齢も幅広く21歳から78歳の方もチームとなって活躍しています。
- ・職員の保有資格とキャリア支援: 様々な資格を持った方が活躍しています。(介護福祉士、社会福祉士、認定特定業務従事者、社会福祉主事、認知症介護実践研修、介護支援専門員、看護師、准看護師、管理栄養士、歯科衛生士、歯科技工士、作業療法士、介護職員初任者研修、認知症介護基礎研修)
- ・職務給制度: わかりやす仕組みづくりに取り組んでいます(職責、役割、職級及び勤務年数、保有資格、業務、必要な研修、昇給条件を明示しています)
- ・福利厚生: 働きやすい職場づくりのために労使とも一緒に取り組んでいます (住居手当、扶養手当、通勤手当、職員用駐車場の整備、資格取得支援として交通費及び宿泊費支給、スクーリングは研修扱い、制服無償貸与、年次有給休暇の積立制度、リフレッシュ休暇、健康診断のための特別休暇、永年勤続表彰、成人祝い金)

■ 介護士として、生きていく 石川県社会福祉協議会 <http://www.kaigoshitoshite.com>



ラーメン大好き。
痩せたら利用者さんに
心配されちゃうんで(笑)

介護士として
生きていく。



介護士として
生きていく。
特設ウェブサイト



社会福祉法人 輪島市福祉会
あての木園
公式ウェブサイト

川尻 誠さん
社会福祉法人 あての木園勤務
見えない目の大先輩。体力的には素晴らしい
ラーメンを食べるため金銭も出向くこと
も、でも、見た目に寄らず心は繊細。本音育
の良さを経験し、命の大切さを理解。自分の
健康も大切にしようと思った。

老人福祉施設は、
高齢者の自立支援を
行っています。

石川県老人福祉施設協議会 | 石川県金沢市本多町3丁目1番10号 076-224-1211 (代)

モデル 当法人 川尻介護職員



社会福祉法人輪島市福祉会

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野2番地

電話番号 0768-26-1661

FAX 番号 0768-26-1751

メール atenoki@skyblue.ocn.ne.jp

Hp <http://www.amusewajima.gr.jp/atenokien/>

いしかわ
魅力ある福祉職場



認定事業者